



大島 一郎 議員

不祥事再発防止に向けて

質問

市になってから、いろいろな不祥事が新聞に載ったため、市民が心配している点もあると思う。そこで平成25年度の市職員が窓口で取り扱った現金の総額、種類と件数は。

会計管理者兼会計室長

市職員による窓口での取扱金額は22億6千954万8千771円、取扱件数は16万7千173件であり、主な内容は、市税、国民健康保険税と後期高齢者医療保険料、診療収入、介護保険料、介護サービス収入、農業集落排水、下水道事業の

分担金と負担金、水道料、その他各種使用料と手数料がある。

質問

受け取りをした現金の管理とチェックについての体制はどのようになっているのか。

会計管理者兼会計室長

会計室では、前日の午後と翌日の午前に入金のあった市税は、午後1時半に2名で納入済通知書などと現金を確認し、指定金融機関に入金している。午後の方は、終業時の5時15分過ぎに2名で納入済

通知書などと現金の確認を行い、翌日午後1時半に2名で納入済通知書などと現金を確認し、指定金融機関に入金している。

質問

現金の過不足が生じた場合の処理方法は。

会計管理者兼会計室長

加算機の入力漏れ、納入済通知書の取り忘れ、領収書の記入漏れなどもあるが、その日の徴収金全てのチェックを行い、現金と納入済通知書の不一致の原因を追求している。

質問

新聞報道にあった不祥事件の関係で、市関係各種団体、任意団体の現金と預金の管理について尋ねる。事件前にあける市職員が取り扱っていた団体数と件数は。

監査委員事務局長

昨年度、各種団体のお金を取り扱っていた部署は21カ所、会計事務を取り扱っていた団体数は61団体である。

質問

不祥事件後に行われた改善内容は。

会計管理者兼会計室長

再発防止のための取り組みとしては、公金取り扱いについて、統一的なルールによる手続きや処理を行うための指針となる愛西市公金等取扱事務マニュアルを7月に作成した。また、準公金の取り扱い

質問

各部署の失敗例をまとめて皆で共有することが大切ではないか。

各部署の失敗例をまとめて皆で共有することが大切ではないか。

副市長

公金の取り扱いについては、各課でそれぞれ関係マニュアルを作成し、素早く再発防止に向けて取り組んだ。

